

議事概要

藤沢市政策会議を次のとおり開催した。

会議名	令和2年度第9回政策会議
開催日	2020年(令和2年)10月15日(木) 8:30~9:26
場 所	本庁舎7階 災害対策本部室
出席者	鈴木市長, 和田副市長, 宮治副市長, 岩本教育長 (政策会議委員) 総務部長, 企画政策部長, 財務部長, 防災安全部長, 市民自治部長, 生涯学習部長, 福祉健康部長, 保健所長(テレビ会議参加), 子ども青少年部長, 環境部長, 経済部長, 計画建築部長, 都市整備部長, 道路河川部長, 下水道部長, 市民病院事務局長(テレビ会議参加), 消防局長, 教育次長, 教育部長, 議会事務局長, 監査事務局長, 農業委員会事務局長, 選挙管理委員会事務局長
議 事	(1) 議題(審議事項) 1 令和3年度組織改正の概要(案)について(総務部) 2 令和3年度人事異動の基本方針(総務部) 3 令和2年度12月補正予算編成について(財務部) (2) 報告・情報提供等 ア 令和2年度計画等策定・改定状況調査結果について(報告)(企画政策部) イ 市議会からの意見・要望等への対応について(依頼)(企画政策部) ウ 藤沢市審議会等の女性登用比率アップに向けての対応方針(企画政策部) エ 藤沢市自然災害対応連携訓練の実施について(防災安全部) オ 2021年成人式の開催方法について(子ども青少年部) カ 湘南藤沢フィルム・コミッション作品支援について(経済部)
内 容	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 (1) 議題(審議事項) 1 令和3年度組織改正の概要(案)について (説明者: 総務部長) □総務部長から, 資料1~3に基づき概要説明が行われた。 《内容》 令和3年度に向けての行政組織の見直し, 組織改正の概要を総務部(案)として整理したため, 報告するもの。 《主な意見等》 ○今回の組織改正で福祉健康部が一番大きな変更があるので, 考え方

<p>内 容</p>	<p>を説明させていただきたい。福祉健康部の分割についてだが、平成29年に福祉と医療の連携を目的に統合をした経過がある。議会からもなぜ統合をしたのに元に戻すのかとの意見もいただいているが、現在の福祉健康部は11課あり、昨年度の決算ベースでは約1,004億円、一般財源ベースでも297億円弱の規模であり、1つの部で全てに目を行き届かせるのは難しいという課題がある。今回のコロナ対策で見えてきた課題、また、「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」の趣旨からも、福祉と医療の連携はますます重要となる。そういう意味では、一つの部の方がよいという意見もあるが、一人の部長で全ての業務を把握するのは困難であるため、福祉と医療がそれぞれの役割を担いながら連携を強化することを目的とし、分割を提案させていただいた。</p> <p>また、大庭台墓園と藤沢聖苑については、現在、福祉として位置付けているが、部内の議論の中で新たな組織では健康医療と位置付けた。公衆衛生の見地に基づく衛生施設であること、市の例規集でも保健衛生に組み込まれていることから、健康医療部に位置付けているが、最優先すべきは市民の利便性である。本庁に置くということで、どちらの部に所属してもそこは変わりなく対応していく。</p> <p>福祉部の地域共生社会推進室についてだが、本年6月に成立した「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」があり、地域共生社会という言葉を使いながらも、厚生労働省が管轄する福祉と医療の充実について地域を巻き込んで実施するもの。一般に共生社会として理解されている人権などには踏み込んでいない。そのため、地域共生社会の実現については、部としては地域福祉を推進するという意味で地域福祉推進課という名称で提案をさせていただいた。</p> <p>もし地域共生社会推進課または地域共生推進課とするならば、市民に分かりやすいように、人権を含め、旗振り役となる課を福祉健康部以外に設置するのも一つの考え方であるかと思う。その中の福祉分野を福祉部で担うというのも一つの考え方かと思う。その場合には庁内全体的なとりまとめをするものではなく、組織改正（案）で示されている地域共生社会推進室は室ではなく、課相当でよいと思う。</p> <p>⇒この第1次素案については午後の総務主管者会議でも各総務課長にお知らせし、ご意見・ご質問を受けていく中で、それらを反映させた形で次回の政策会議にも示していきたいので、10月21日を目途にご意見をいただきたい。</p> <p>○10月29日の政策会議にいただいた意見をもとに、さらに理事者との調整をした上で、第2次素案を示していきたい。組織改正につ</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>いては絶対的な組織として位置付けるのは難しい部分がある。それぞれ考え方が異なると思うが、今回お示しした第1次素案に対して、改めてご意見をいただきたい。</p> <p>それから、資料1の4ページ「3 庁内横断的組織の位置付け」について、時代が変化する中で、例えばデジタル化の課題、地域共生社会の推進など、組織図上は中心となる課を位置付けるが、一部の課だけでは取組が進まないという課題がある。そこで、改めて庁内横断的組織の位置付けを何らかの形で検討していきたい。これまで様々な本部会議、連絡会議などを行ってきたが、中身によっては、もう一歩進めて横断的組織の位置付けを何らかの形で作りたいたいと検討している。このことについても、次回の政策会議で考え方を示したい。</p> <p>○今回、大局的に見た大きな意味での組織改正とのイメージを持った。一方で、各部や各課が持っている課題についても組織改正の経過の中で議論していたかと思う。それについてはどうなったのか、どうして今回取り上げなかったのか、やめたのかという経緯も含めて、フィードバックはあるのか。</p> <p>○昨年度の12月以降、総務課長と総務主管者会議で現状の組織や業務の課題について議論してきた。それらについては109の課題として整理し、以前の政策会議で報告させていただいた。また、今回の新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえて、喫緊の課題と重要施策の推進ということを基本的視点として、令和3年度の組織改正案にまとめた。令和4年度以降に向けた組織や業務の見直しの整備や中長期的に考えるものと、数種類の分類整理をしたものを提出する中で、今後の検討課題としてきた。令和3年4月以降に部局や課等の改正が必要な場合は、随時の見直し課題が必要なものとして捉えたものもあると思う。フィードバックについては機会を捉えて、総務主管者会議等で今回の組織改正に該当するものとしなものに分けて、示すことができると考えている。</p> <p>○課題によっては、事前の業務的な整理が必要なものがあると思う。結果的にこのタイミングで整理しておかないと次にそういった機会があった時に反映しにくいものがあると思う。そういったものについて、今回組織改正では反映しないが、課題整理をどうするのかもあわせて総務主管者会議で議論していただきたい。具体的にいうと、以前から課題となっている文書館の取り扱いである。行政総務課と文書統計課、郷土歴史課、図書館等の兼ね合いがあり、文書保存の在り方に一定の整理が必要である。そういったことも含め関係課による考え方の整理を進めなければ、課題の解決にならない。そういったことも含めて今回の組織改正の考え方を明確にしていた</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>だきたい。</p> <p>○部局や課等の再編成，組織改正で整理できるもの，解決できるもの以外は事務分掌での解決，職制や人員配置で解決できるもの等，課題がある。ご指摘いただいた文書館の整理については，市民会館の建て替えの中でも議論がある。109の課題と並行して整理をし，検討させていただきたい。</p> <p>《結果》 了承。</p> <p>2 令和3年度人事異動の基本方針 (説明者：総務部長)</p> <p>□総務部長から，資料に基づき概要説明が行われた。</p> <p>《内容》 令和3年度人事異動に向けての基本方針，事務手続きについて報告するもの。</p> <p>《主な意見等》 ○新しい行革の課題の四本柱の一つに職員育成が出ている。行革の柱として記載があり，それが出来てから人事異動や採用研修も含めて運用全般に関わってくるものと思う。今回の案でも少しはその部分が出てくるのかと思っていたが，記載がなかった。来年度になるのかと思うが，今までのジョブローテーションや専任職制度も大きく見直しながら人事異動に対する考え方を示していく必要がある。専門的な知識を高めていこうという行革の考え方と全体の人事の考え方にアンバランスが生まれないようにしていただきたい。</p> <p>⇒人材育成基本方針があるので，ご指摘いただいたような点も含めて見直しを図っていきたいと考えている。その上で行革，人事制度を整えていきたい。</p> <p>《結果》 了承。</p> <p>3 令和2年度12月補正予算編成について (説明者：財務部長)</p> <p>□財務部長から，資料に基づき概要説明が行われた。</p> <p>《内容》 令和2年度12月補正予算を編成に当たり，補正予算編成方針等について報告するもの。</p> <p>《主な意見等》 ○補足をさせていただく。工事の平準化を目的とした債務負担行為の説明があったが，今回議会からも非常に強い希望が出ており，市内</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>の様々な建設団体からも強い要望があった。これはやはり経済対策ということで、中小企業対策に繋がるものである。数年前から本市は取り入れているが、結果的には道路河川部だけになっていた。資料に記載があるとおり、道路補修工事だけでなく公共インフラの維持、補修、塗装、測量等の中小企業を対象に発注するものとしている。来年度予算の前倒しをするものなので、当初予算が固まっている段階で難しいという部分もあると思うが、来年度当初予算に必ず盛り込まれるというものを出来る限りピックアップしてもらい、工事系の予算を有している部局は制度を活用していただきたい。</p> <p>もう1点は、直接12月補正予算とは関係はないが、国で第3次補正予算編成の動きが急に盛り上がっている。提出は年明けとの情報もあるので、12月補正予算と直接関係ないかもしれないが、コロナ関係にいち早く対応するため、体制を整えるということも考え、それぞれの部局で国や県の情報の収集に力を入れていただきたい。</p> <p>《結果》 了承。</p> <p>(2) 報告・情報提供等</p> <p>ア 令和2年度計画等策定・改定状況調査結果について（報告） □企画政策部長からの概要説明については省略。</p> <p>《内容》 2020年10月2日に依頼した、各部局における令和2年度計画等策定・改定状況調査の結果について報告するもの。</p> <p>《主な意見等》 なし。</p> <p>イ 市議会からの意見・要望等への対応について（依頼） □企画政策部長からの概要説明については省略。</p> <p>《内容》 各部局所管事業に関する市議会からの意見・要望等の内容確認のため、調査票の提出を依頼するとともに、対応の方向性に関する理事者判断が必要なものについては、別途、各部局で理事者調整の実施を依頼するもの。</p> <p>《主な意見等》 なし。</p> <p>ウ 藤沢市審議会等の女性登用比率アップに向けての対応方針 □企画政策部長からの概要説明については省略。</p> <p>《内容》</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>政策・方針決定過程への女性参画の拡大に向けた取組として、「藤沢市審議会等の女性登用比率アップに向けての対応方針」を決定したため、各課への周知徹底を依頼するもの。</p> <p>《主な意見等》 なし。</p> <p>エ 藤沢市自然災害対応連携訓練の実施について □防災安全部長からの概要説明については省略。</p> <p>《内容》 昨年度関東に接近、上陸した台風第15号及び第19号の教訓を踏まえ、風水害発生時における関係機関との連携強化を図ることを目的に実施する訓練について、情報提供するもの。</p> <p>《主な意見等》 なし。</p> <p>オ 2021年成人式の開催方法について □子ども青少年部長からの概要説明については省略。</p> <p>《内容》 20歳を迎えた方・迎える方が、社会人としての自覚を高めるよう、新成人を祝う集いを開催し、式典と記念事業を実施すること、及びコロナ禍での開催となるため実施方法を変更し、感染防止対策を講じたうえで開催することについて情報提供するもの。</p> <p>《主な意見等》 なし。</p> <p>カ 湘南藤沢フィルム・コミッション作品支援について □経済部長からの概要説明については省略。</p> <p>《内容》 湘南藤沢フィルム・コミッション事務局（平成14年設立）について、庁内の支援体制が形骸化し、公共施設との調整がつかないことでロケ地から除外される状況が散見されるとともに、施設使用料に対する特段の配慮が希薄になっていることから、改めて全庁的な支援を求めるもの。</p> <p>《主な意見等》 なし。</p> <p>4 その他 ○政策会議終了後に様々な会議があるが、それらの資料もペーパーレス化をするということであれば、資料データを「政策会議専用」共有</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>フォルダにまとめて入れておいていただきたい。</p> <p>⇒今後の運用については、各会議を所管する部局もまたがっており、会議前の資料の取り扱いなどの問題もあるので、ご意見を踏まえて整理させていただく。次の会議までにご連絡をさせていただきたい。</p> <p>○政策会議の資料を部内会議で周知できるようにしたいが、目安としていつ頃、職員ポータルライブラリに掲出されるのか。</p> <p>⇒政策会議と総合指針改定委員会の資料については、会議が午前中に終了すれば、午後にはライブラリに掲出されるようにする。</p> <p>○補足として、やはり政策会議の場合、未成熟情報を含むため非公開にした方がよいとのご意見をいただく資料もある。そのような資料の多寡にもよるが、修正がなければ概ね午前中には掲出することを一定の目安とさせていただきたい。</p> <p>○今回、決算特別委員会の資料に誤りがなかった。ある意味、当たり前のことではあるが、やはり素晴らしいことだと思う。各所属でのチェックや各部長のマネジメントが上手くいった結果だと思う。感謝申し上げるとともに、是非来年度以降もこうして誤りがないように続けていただきたい。</p> <p>5 閉会</p>
------------	--